

大植英次プロデュース

# 威風堂 in Hiroshima

広島を音楽でいっぱい...

2015/11/28(土)・29(日)

入場無料

(ただし、広島国際会議場のみ有料)



大植英次



©ZENRIN CO., LTD.2015 (Z15EP第308号)

## お問合せ・申込先

威風堂クラシック in Hiroshima 実行委員会事務局 ☎082-244-0750  
〒730-0812 広島市中区加古町 4-17 ホームページアドレス <http://12dodo.com>



## お客さまへのお願い

- 各会場ともバス停や電停から10分程度ですので、公共交通機関をご利用くださいますようお願い申し上げます。
- 開場時間は開演30分前の予定です。また、お客さまの安全確保のため、入場を制限する場合がございます。
- 椅子の数には限りがあるため、立見をお願いする場合がございます。
- 会場は基本的に飲食禁止ですので、予めご了承ください。
- 赤ちゃん連れのお客さまもお気軽にご鑑賞ください。途中くずられることがあっても、どうか周囲のみなさまも温かい目で見守ってくださいますようお願い申し上げます。

## 《協賛企業》

マツダ、中国電力、広島銀行、中国新聞社、大野石油店、中電工、中電プラント、広島ガス、広島信用金庫、広島電鉄、福屋、フジタ、もみじ銀行、リーガロイヤルホテル広島、中国放送、平尾クリニック、広島トヨペット



主催: 威風堂クラシック in Hiroshima実行委員会、広島市、(公財)広島市文化財団 協力: (公社)広島交響楽協会、ゼンリン、大植英次後援会  
後援: 広島市教育委員会、(公財)広島観光コンベンションビューロー、広島商工会議所、中国新聞社、NHK広島放送局、中国放送、広島テレビ、広島ホームテレビ、テレビ新広島



# Message

広島のみなさまへ

今年、広島は被爆70周年という節目の年を迎えました。

街中にあふれるクラシックを通じて、あらゆる人々が幸せになれるひとときを過ごしてもらおうと企画した「威風堂々クラシック in Hiroshima」に、今年は平和と希望のメッセージをのせて、みなさまにお届けいたします。

「威風堂々クラシック in Hiroshima」は、富士山より格式高く、敷居は広島城の御壕より低くをモットーとしています。しかし、「威風堂々クラシック in Hiroshima」は広島市民のドキュメンタリーで有り、ノンフィクションの物語です。どの様に育っていくかは誰にも想像さえ出来ません。

一つだけ分かっているのは、最愛の広島市民のみなさまと、ここに基盤をしっかりと作り固め、永遠の幸せを築き続けるのが、私の人生をかけての使命だと心得ています。

また今年も、才能あふれる若き演奏家が多く出演します。全世界の若い世代は必ずやこれまでの伝統的な交流の歴史を継承し、これをさらに豊かな心の交流として発展させていくにちがいありません。

私も、未来に焦点を定め良い伝統をかたくなに守りながらも、まっしぐらに広島のみなさまと一緒に突き進んでまいりたいと思います。そして「広島に来れば夢がかなう」と感じられるように、この場所がより一層魅力ある都市となるようお手伝いしていきます。

それでは、今年も活気にあふれた演奏をお楽しみください。そして、ご来場くださった皆さまにとって、「威風堂々クラシック in Hiroshima」が、音楽を通じて平和への思いを新たに、その思いを会場全体で共有するような心に響く体験となることを願っています。

広島市文化大使

大植英次



## 大植英次プロフィール

1956年10月3日広島市生まれ。大阪フィルハーモニー交響楽団桂冠指揮者、ハノーファー北ドイツ放送フィルハーモニー管弦楽団名誉指揮者。タングルウッド音楽祭でレナード・バーンスタインと出会い、以後、世界各地の公演に同行、助手を務めた。これまでにミネソタ管弦楽団音楽監督、ハノーファー北ドイツ放送フィルハーモニー管弦楽団首席指揮者、バルセロナ交響楽団音楽監督、大阪フィルハーモニー交響楽団音楽監督を務め2000年よりハノーファー音楽大学終身正教授。2005年「トリストランとイゾルデ」を日本人指揮者として初めてバイロイト音楽祭で指揮し、世界の注目を集めた。2006年大阪芸術賞特別賞、斉藤秀雄メモリアル基金賞受賞。2007年大阪市市民表彰受賞。2009年ニーダーザクセン州功勞勲章・一等功勞十字章受章、広島市民賞、中国文化賞受賞

## 個人協賛のご案内

威風堂々クラシック in Hiroshima実行委員会では、このイベントの運営資金に充てるため、みなさまにご協賛(ご寄付)のお願いをしております。イベントの趣旨に賛同しご協賛いただける方は、お手数ですが、郵便局払込用紙に、住所、氏名、電話番号をご記入の上、11月13日(金)までに下記によりお振込みください。

- 1 協賛金額 1口2,000円(何口でも構いません)
  - 2 振込み先 ゆうちょ銀行 01310-8-102593 威風堂々クラシック in Hiroshima 実行委員会
  - 3 問合せ先 威風堂々クラシック in Hiroshima 実行委員会事務局 ☎ 082-244-0750
- ※ 1口につき、11/29(日) 17:45開演のフェニックスホールでの入場券1枚進呈(ただし、最大5枚まで)

# Program

## 2015/11/28(土)

1	12:00 13:00	広島県立美術館 1階ロビー	ピアノ:尾崎有飛、甲斐史郎、大植英次 ソプラノ:小林良子 アルト:佐々木有紀 テノール:澤原行正 バリトン:折河宏治 広島心音合唱団*Ⅰ ベートーヴェン/交響曲第9番 シューマン/トロイメライ
2	13:15 14:15	広島市こども文化科学館 アポロホール 5歳以下のお子様連れ優先入場公演	威風堂々アンサンブル広島 マリンバ:志水竜 フルート:佐田晴菜 ナレーション:大植英次 プロコフィエフ/ピーターと狼 ピアソラ/タンゴの歴史より
3	14:50 15:40	福屋広島駅前店 6階マルチの広場	クラリネット:宮岡優吉 チューバ:小畑清佳 サクソフォン:加藤瞳、三浦未紅、原田桃子、西川祐太 ファゴット:白井薫 ピアノ:青木彩絵子、大植英次 C.M.ウェーバー/クラリネット協奏曲第1番第1楽章 E.グレッグソン/チューバ協奏曲第1楽章 E.ボサ/アンダンテとスケルツォ C.ノートン/マイクロジャズ ほか
4	17:10 18:00	ひろしま美術館	ヴァイオリン:長谷川夕子、伊達万浩 ヴィオラ:柴智宏 チェロ:岩橋綾 心音弦楽アンサンブル* 広島心音木管アンサンブル* 指揮:大植英次 モーツァルト/ディヴェルティメント第1番K.136 モーツァルト/セレナード第11番K.375

## 2015/11/29(日)

1	8:00 8:50	広島市役所 1階市民ロビー	指揮:大植英次 広島心音オーケストラ* エルガー/威風堂々 ベートーヴェン/交響曲第5番「運命」第4楽章 バーバー/弦楽のためのアダージョ
2	9:20 10:10	中国新聞社ロビー	ヴァイオリン:井前慶子 ピアノ:保屋野美和、尾崎有飛、大植英次 モーツァルト/ヴァイオリンソナタ第8番 ベートーヴェン/ピアノソナタ第6番 バッハ/フランス組曲BWV815
3	10:30 11:30	NHK広島放送局 1階ロビー	ヴァイオリン:佐久間聡一 威風堂々四季アンサンブル チェンバロ:大植英次 ヴィヴァルディ/四季
4	12:00 13:00	広島県立美術館 1階ロビー	ピアノ:保屋野美和、尾崎有飛、大植英次 広島心音合唱団*Ⅱ ホルスト/惑星
5	13:30 14:30	中国電力株式会社 本社 2階ホール ※1 要入場整理券	チェロ:秋津智承 ピアノ:甲斐史郎、大植英次 ヴァイオリン:井前慶子 ヴィオラ:吉海めぐみ フォーレ/エレジー エルガー/チェロ協奏曲 シューベルト/弦楽三重奏曲D.471
6	15:30 16:20	リーガロイヤルホテル広島 1階	ヴァイオリン:佐久間聡一 ピアノ:尾崎有飛 *大植英次の出演はありません バッハ/無伴奏ソナタよりシャコンヌ バッハ/G線上のアリア
7	17:45 20:15	広島国際会議場 フェニックスホール ※2 入場料:1,000円(自由席、税込)	指揮:大植英次 広島心音オーケストラ* 出演:松井一實 コーブランド/市民のためのファンファーレ コーブランド/リンカーンの肖像 シベリウス/フィンランディア ジョン・ウィリアムズ/ハリボッター レナード・バーンスタイン/ウェストサイドストーリー バーバー/弦楽のためのアダージョ ホルスト/木星 チャイコフスキー/1812年序曲

(開演の30分前に開場する予定です。また、出演者・演目・時間等は変更になる場合がございます。)

※1 中国電力ホールでの公演は、入場整理券が必要です。整理券を希望される方は往復はがきに①代表者住所②氏名(入場を希望される全員のお名前・はがき1枚につき2名まで)③電話番号④中電ホール整理券希望と記入の上、裏面の申込先までご応募ください。応募締切日/平成27年11月10日(火)必着(応募者多数の場合は抽選)

※2 入場券取扱所:エディオン広島本店、福屋広島駅前店、アルパーク天満屋、JMSアステールプラザ、各区民文化センター、電子チケットぴあ 0570-02-9999(Pコード:277-235) 10月6日(火)プレイガイド発売

\*「心音(しんおん)」とは、大植英次さんが「音を耳で聞くのではなく心で感じるものだ」と考え、長年、モットーとしてこられた大切な言葉です。公募による若手演奏家が編成されたオーケストラとプラスバンドは、ここから命名しました。